

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ニトリ幸手DC新築工事 駐車	階数	地上6F/地下0F
建設地	埼玉県幸手市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	247 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年6月29日
敷地面積	9,051 m <sup>2</sup>	作成者	奥村組 菅 正和
建築面積	2,458 m <sup>2</sup>	確認日	2022年6月29日
延床面積	14,469 m <sup>2</sup>	確認者	奥村組 菅 正和



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	N.A.
耐用性	3.2
対応性	2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耐用年数が長い外壁仕上げ材や内壁仕上げ材を使用することで、維持管理を容易に行うことができる	特になし	
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 壁長さ比率=0.131	Q3 室外環境(敷地内) 中・高木、トノリ等の水平投影面積を多く設けている
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル LGS+ケイカル板で容易に分別が可能	LR3 敷地外環境 燃焼機器は不使用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)ニトリ幸手DC新築工事 駐車場棟**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
<b>2 温熱環境</b>										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
<b>3 光・視環境</b>										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
<b>4 空気質環境</b>										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO <sub>2</sub> の監視										
2 喫煙の制御										
<b>Q2 サービス性能</b>							0.43			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.2</b>	0.50			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.8</b>	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.33			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		ALC+吹付タイル(吹付塗装仕上げ)の耐用年数40年				5.0	0.33			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		壁・EP塗の耐用年数15年				4.0	0.17			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.17			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔						-	-			
2.4 信頼性						<b>3.0</b>	0.20			
1 空調・換気設備						-	-			
2 給排水・衛生設備						-	-			
3 電気設備						3.0	0.50			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.50			
5 通信・情報設備						-	-			

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>2.9</b>	0.50	-	-	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>2.8</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		2.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.13	4.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		-	-	-	-	
2 給排水管の更新性		-	-	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.33	-	-	
4 通信配線の更新性		-	-	-	-	
5 設備機器の更新性		-	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.67	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.57	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	植栽により良好な景観を維持している	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>2.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	中・高木、ビロイ等水平投影面積を多く設けている	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		-	-	-	-	
<b>2 自然エネルギー利用</b>		-	-	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>		<b>3.0</b>	1.00	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水		-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+ケイカル板で容易に分別が可能	4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
3 冷媒		-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		-	-	-	-	
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.4</b>	0.50	-	-	<b>3.4</b>
2.1 大気汚染防止	燃焼機器は不使用	<b>5.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>2.7</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な量の駐車スペースの確保など	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート









■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)ニトリ幸手DC新築工事 駐BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	----------------------	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	3.0	=	3.0 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
<配慮した内容を記述>			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	4.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> ピロティ・庇等の水平投影面を多く設けている			

:入力欄